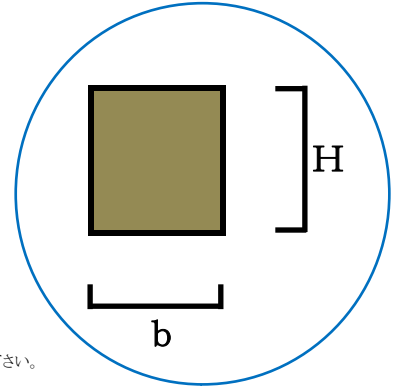
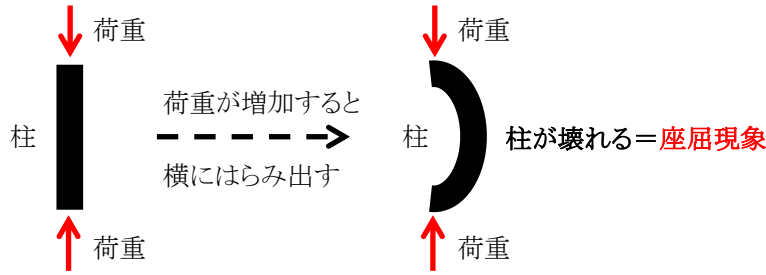
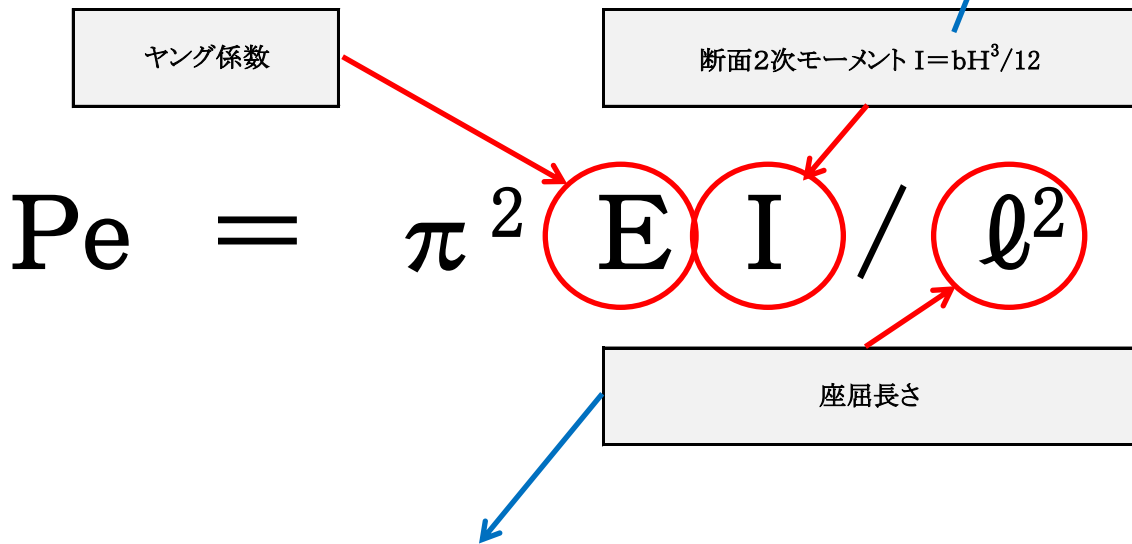


# IV構造(7. 座屈) ①座屈の基本

座屈とは、柱に荷重がかかり過ぎると、横にはらみ出して壊れる現象＝「**座屈現象**」という。



弾性座屈荷重(オイラー座屈荷重  $P_e = \pi^2 EI / \ell^2$ )で求まる。…この式は暗記して下さい。



座屈荷重で難しいのは、支持条件により**座屈長さ**「 $\ell$ 」が異なる部分だけである。…下記、座屈長さは暗記して下さい。

支持条件	水平移動 <b>拘束</b>		
	両端固定	一端ピン 他端固定	両端ピン
座屈形状			
座屈長さ	$0.5\ell$	$0.7\ell$	$\ell$

支持条件	水平移動 <b>自由</b>		
	両端固定	一端自由 他端固定	一端ピン 他端固定
座屈形状			
座屈長さ	$\ell$	$2\ell$	$2\ell$